

昼休みの時間をいただいて、みなさんに2つ、お話をします。

ひとつは、自分は感染しているかもしれない、という前提で毎日の生活を考える、ということ。
もうひとつは、食べながらしゃべらない、しゃべるときは必ずマスクをする、ということです。

みなさんもお存知のとおり、「まん延防止等重点措置」の延長に伴い、本日5月12日から31日月曜日まで、休日の部活動を禁止し、平日も週2日、1回90分程度までに制限することとなりました。

最近になって、みなさんのような若い世代の人たちにも感染しやすい可能性があると言われる、いわゆる「変異株」が、埼玉県内でも新規感染者の6割を越えるようになってきています。

また、「変異株」は、これまでのウイルスよりも感染力が強いとされています。

できるだけ早い段階で、感染拡大を防ぐことが、今回の制限の目的です。

今回は、部活動が制限の対象となりました。

しかし、今後、お昼ご飯や授業を通じて集団感染が広がるようであれば、次は、昨年のような分散登校や一斉休業ということも、十分考えられます。

それは、なんとしても避けたいと思います。

そこで、みなさんに2つ、強くお願いします。

ひとつめ。自分は感染しているかもしれない、という前提で行動してください。自分でも知らないうちに家族から感染し、結果として感染が広がってしまう、という例が、これまでもありました。

ふたつめ。食べながらしゃべらない。しゃべるときは必ずマスクをする。

登校前の検温や健康チェック、こまめな手洗いや消毒の徹底はもちろんですが、特に感染者が出た場合、食事時のマスクが、濃厚接触かどうかを判断する大きなポイントとなります。マスクを外し、食べながらおしゃべりしていた場合、ほぼ濃厚接触と判断されるようです。

自分は感染しているかもしれないという前提で行動し、おしゃべりするときには必ずマスクをしましょう。万が一、自分自身が感染者や濃厚接触者となった場合、それだけで対応に大きな違いが出ます。

さきほどもお話ししたとおり、今後流行の中心になるといわれる「変異株」は、これまでのウイルスより感染力が強く、みなさんのような若い人たちも重症化しやすいとされています。

これまで大丈夫だったから、ではなく、これまで以上に、できる対策をしっかり取る必要があります。

ともだちとおしゃべりを楽しみながらお昼ご飯を食べるのはとても楽しいことです。

だからこそ、お互いの気づかいが、特に今は必要です。

食べながらしゃべらない。しゃべるときは必ずマスクをする。

どうか、よろしくお願いします。